



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年5月6日(金)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心もち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

3年生修学旅行しおり読み合わせ・乗車隊形練習

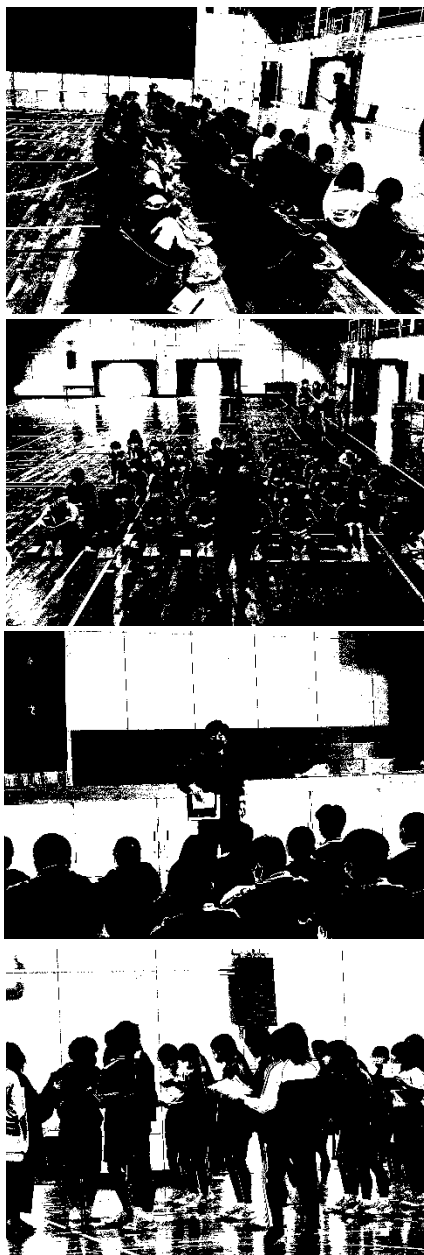
中学生や高校生に学校生活で印象に残っていることを尋ねると、返ってくる答で圧倒的に多いのが部活動、修学旅行、体育大会、文化発表会の思い出です。では、なぜ、それほどまでに修学旅行が強く印象に残っているのでしょうか。

それは、おそらく、日々の学校生活では経験できない(非日常といいます)印象深い内容がぎっしり詰まっているからだと思います。普段訪れる機会のない地方を訪問し、見学や現地の人々との触れあいを通じて、それまで本やテレビでしか知ることのできなかった未知の自然や文化、風習を身体で感じ取ることで、強い印象が脳裏に刻まれることと思います。

そして、寝食を共にする級友たちとの3日間の中で、昼間の見学や夜の活動、部屋での語りなどを通して、級友たちの新しい魅力を発見したり、人の和の温かさを感じ取ったりすることで、生涯かけがえのない思い出ができると思います。

修学旅行では、これまで見聞したことも、経験したこともない大きな感動を覚えることでしょう。また、寺社仏閣のすばらしさだけでなく、様々な訪問や行事を通じて大阪・京都・奈良の歴史や文化についての貴重な知識を得ることもできると思います。ぜひ、総合的な学習の時間等を利用して行った事前学習の成果を十分生かしながら、大阪・京都・奈良のすばらしさを体一杯に感じとっててください。

更に、宿泊先や訪問先では、たくさんの方々のお世話になるでしょうが、そこでの新たな出会いや触れ合いを通じて、関西の人々の温かい心情に触れることができるでしょう。そして、旅行中でのこれらの貴重な経験を通じて、君たちが人間的にも一回り大きく成長するものと期待しています。



今回の修学旅行が君たちにとって、素晴らしいものとなるためには、何よりもトラブルのないことが大切です。そのためには、修学旅行が集団活動であることをしっかり自覚し、一人一人が規律ある行動を常に心がけるとともに、健康や事故に十分留意することが大切です。みんなの生涯の思い出に残る素晴らしい修学旅行になることを願っています。

この日は4校時・5校時にしおりの読み合わせと新幹線乗車隊形の練習を行いました。体育館での練習でしたが、新幹線のホームや集合場所等では人も多く練習通りにいかないことの方が多いと思います。大切なことは、「指示をしている人(先生や班長・実行委員)」の方を向く、私語をしない、点呼は確実に行うこと(欠席者がいないからといって感覚だけで点呼をしない。顔を見て点呼をする)です。事故やトラブルが一つでもあれば修学旅行の思い出が壊れてしまいます。みんなが協力し合って楽しい修学旅行にしたいものです。

尾倉中歓迎ミニクラスマッチ～歓迎遠足代替行事として

5月2日は総合的な学習の時間に、歓迎遠足の代替行事として「歓迎ミニクラスマッチ」「人権学習」を行いました。本来は雨天のプログラムでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、遠足の代わりに実施しました(学年を分けるなど感染防止対策を取りました)。

種目は「ボールは友だちレース」「あれは・・・ラピュータ?レース」「ふらふらミンゴレース」「走れ身体的距離レース」の4つです。教務主任の梶田先生が考案したレクリエーションで、どの学年も楽しく、一生懸命に参加していました。人権学習はビデオ鑑賞でしたが、12月の人権週間には、また違った取組をする予定です。



大型連休中の取組でしたが、生徒の皆さんは少しリフレッシュできたでしょうか。明日からは、また2日間の休みです。宿題や生活ノートをきちんと仕上げ、月曜日から集中して授業に臨めるようにしましょう。また、2年生は9日は英語村体験学習です。有意義な時間にしましょう。